



1/4ですむさとう
オリジナル計量スプーン付!
三井製糖株式会社



いい仲間、いい仕事、三栄会
San-ei news
編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産(株)事業管理部企画室内
TEL.(03)3285-7816 三栄会ホームページ URL: http://www.san-eikai.or.jp
Eメールアドレス: SaneikaiTKAOI@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画



東京三栄会 第29期総会開催

七月一日(月)、東京三栄会第二十九期総会が三井物産本店二階会議室にて開催されました。当日は東京三栄会メンバーの各社代表の方々や地方三栄会の代表の方々など、一三〇名を越える多くの方々に参加いただきました。

総勢130名が集い、活発な議論がなされました

表1 新任役員

会長	香川 幸之	三井石油開発(株)代表取締役社長
副会長	陶浪 隆生	三井リース事業(株)代表取締役社長
副会長	橋本 芳博	三井物産フォレスト(株)代表取締役社長
共通世話人	豊島 立	三井物産ベトロリウム(株)顧問
会計監事	小澤 眞	物産不動産(株)常務取締役

表2 期中交代幹事

金属・エネルギー正世話人	藤井公一郎	三井石油(株)代表取締役社長
金属・エネルギー副世話人	東仲 富彦	三井物産メタルズ(株)代表取締役社長
金属・エネルギー副世話人	北村 順作	三井物産鋼材販売(株)代表取締役社長
化学品部会正世話人	大久保淳一	三井物産アグロビジネス(株)代表取締役社長
生活産業部会正世話人	中込 純	(株)ジェイ エスキューブ代表取締役社長
生活産業部会副世話人	谷津 唯司	物産コミュニティー(株)代表取締役



総会後に行われた懇親会の様子

まずは、東京三栄会会長の増田潤逸会長の挨拶から始まりました。その要旨は、「昨年二月の総会以降、特別会員である三井物産からの申し入れや、三栄会発足



増田会長の挨拶

「本年度会計報告」と「期中交替幹事報告」、「三栄会前の改訂」、「幹部改選」が承認されました(新任役員については表

から三〇年が経ち、周囲の環境が変わったことも踏まえて当東京三栄会の今後のあり方につき、多くの関係者と議論してきました。その結果、会員相互の交流・情報交換を主目的とする会発足の原点に帰ることとなり、会則上もその目的を明確にさせることとなりました。三栄会の活動範囲、領域を今後も拡大していくためにも、委員会、部活動を担っていた委員の方々が必要です。必要になっており、会員企業からの積極的な委員の派遣をご配慮いただきたい。より実りのある活動が実現できるよう、従来にも増した皆様のご支援を改めてお願いしたい」とのことでした。

最後に、「二〇〇九年度予算報告」および「二〇〇九年度活動方針」が承認され、第一九期総会を終了しました。(広報委員長/日本ユニシス：前田)

1、期中交代幹事については表2を参照。これにより、東京三栄会会長は香川幸之氏に、副会長は陶浪隆生氏と橋本芳博氏となりました。また二〇〇九年度活動重点テーマは、本年も昨年同様、「いい仲間 いい仕事 三栄会」となりました。香川新会長からは、「会員社員間の交流を図る」という会の目的がますます重要になってきており、昨今の社会状況変化を考えると、なお適切なテーマであり、かつ明瞭なキーワードと考えています。グループ交流、対話を通じてその輪を広げ、成長を目指すという三栄会発足以来の「いい仲間いい仕事三栄会」を本年度のテーマとしましょう」とのお話がありました。

東京三栄会文化交流委員会主催

第二回森林フェスタ開催

四月一九日(日)に第二回森林フェスタが開催されました。その楽しかった内容を皆さんにご紹介します。

集合・出発

東京駅八重洲口の丸の内線橋詰駅から午前八時一五分に集合。場所はなかなか分かりづらい所であったのですが、文化交流委員会の方々が所要所にプラカードを持って立って待っていてくれたので、迷うことなく集合場所に定時に全員集合し、バスで目的地へ。参加者は約五〇名でした。

バスの中でのこと

バスが目的地へ向けて走り始めると早速森林フェスタの開始です。今回は豊島副会長が実行委員長で、横手共通世話人が実行副委員長でした。今回も第一回に続き、参加費無料という太っ腹な実行委員長から参加者への挨拶が行われ、続いて事務局からスケジュールの紹介の後、物産フォレスト(株)服部



間伐作業などを体験し、自然を満喫した参加者の皆さん

木更津港に注ぎ出る小櫃川の支流、笹川の支流に造られた片倉ダムに隣接して、標高は山林の入り口で一五〇メートル、最高地点で二四八メートルあります。山林は一九六〇年から一九七一年に植林された杉やヒノキの人工林で、森林を健全な状態に保つために間伐が定期的に行われています。最初に苗を植えるときに苗同士が競争して育つように、ある程度密生させて植えるのだそうです。ところが、苗が大きくなると

と大きな空間を必要とするので、立て込んだ木々をまびいてより大きく成長できるようにします。これが間伐です。バスの中でウンチクに富んだ服部さんのお話を聞いているだけで、だいたいの森林のプロになってきたという感じで全員が話に聞き入っていました。続いて、参加者の自己紹介です。家族で参加の方、兄弟姉妹で参加の方などグループでの参加が多かったです。また、前回も参加されている方が目立ちました。やはり森林フェスタは人気なのです。

現地到着、グループに分かれて自然観察と間伐を実施
バス旅行を楽しんでいるうちに現地到着。これからは自然観察と間伐の二グループに分かれてフィールドワークです。三井物産フォレストの社員の皆さんが先生となって山へ分け入って行くのですが、その前に全員で準備体操です。結構険しい山に入りますので安全第一です。

自然観察は、実際に亀山山林に入ると豊かな自然を勉強します。亀山山林の特徴を説明すると、この山は北方系のモミ、ツガ、カヤといった植物と、南方系のセンリョウ、イヌマキ、サカキといった植物が混生している非常に珍しい山で、山に入って実際に手にとって触れて確認ができるそうです。カヤとイヌマキは非常に外見が似ているのですが、触ってみるとトゲトゲしたカヤと丸みを帯びたイヌマキとの違いはすぐに分かります。なるほど、これが実体験のメリットですね。およそ一時間の工程でした。

一方、間伐グループはノコギリを渡されて、ヒノキの森へ分け入って行き、ヒノキの香りがしてとてもよい気持ちです。ヒノキ風呂の感じを想像してみてください。三井物産フォレストの社員の皆さんが五、六人の班ごとに付いて、間伐するやせ気味で混んだヒノキを見つけて行きます。しかし、

植えてから三〇年から五〇年経っているのだから、我々素人から見ると切ってしまうのはとても可哀相な気がしますが、しかし、これも将来のためと意思を決めて木に向かいます。渡されたノコギリで少しずつ切っていきます。一人ずつ切りますが、上手な人、下手な人さまざまです。切っている人の方に木が倒れると怪我をするので、ロー

プで木の上部を縛って切っていきます。バリバリと木が倒れると本当に可哀相です。切り倒した木は、五〇センチ程度に細かく輪切りにして終了です。間伐グループもやはり一時間ほどの工程でした。各グループが終了すると、今度は自然観察グループと間伐グループが入れ替わって、結局、自然観察と間伐の両方を体験することができました。よく働いてお腹が空いたのでバーベキュー会場である清和泉民の森へバスで移動しました。

バーベキューで懇親会、そして帰途へ
清和泉民の森は、千葉県立のキャンパスとバーベキュー施設で、会場に到着するとすでに文化交流委員の方々がカマド係り、調達係、料理係りなど担当を決めてすでに準備が出来上がっている状態でした。私たちはグループに分かれて調理された材料をコンロに乗せ

るだけ。しばらくするとおいしい匂いが漂い始めて、全員がしばらくの間黙々と食べていました。とてもお腹が空いていたのです。ひと段落すると、三井物産フォレストの方々が、先ほど間伐したヒノキの輪切りを空気に運んで来て、「土瓶敷き」を作りませ

か?」と皆さんに声をかけていました。三〇センチほどの直径がありますので、薄く輪切りにすれば、年輪の美しいヒノキの「土瓶敷き」が完成します。私も腹ごなしで早速挑戦しましたが、留守番の山の神に良いお土産ができました。皆さん満腹になると、帰宅の準備です。バスの中で説明があった「Reduce, Reuse, Recycleの3R」の考え方で、分別してごみを片付けました。きれいに片づけをすまして、バスで帰途につきました。

朝早くからしっかりと仕事をしましたから、バスの中では皆さん爆睡タイムで、海ほたる経由で一九時に無事解散場所の東京駅に到着。文化交流委員会や三井物産フォレストの皆様のご支援で本当に楽しい一日を過ごすことができました。本当にありがとうございました。感謝!感謝!
(広報委員長/日本ユニシス・前田)



慣れない手つきで一息懸命に間伐に奮闘



〜事務局より〜
北海道支社主催で四回目の社有林見学でしたが、今回は初めて北海道三栄会にまで輪を広げ、社内外の三栄会メンバー二十七名に参加していただきました。皆さん童心に返ったように楽しみなが作業に取り組んでいる様子でした。特にノコギリで背丈以下の余計な枝を切る「裾枝切り」は人気がありました。植樹は急斜面でクワを入れると土の中から細い根がたくさん現れて女性にはなかなか力の要する作業でした。その後、この記事を投稿してくれた山菜に詳しい社友にアドバイスをいただきながら、行者にんじくなどの山菜を採り、収穫の喜びも体験できました。そうした自然の中での労働後は、スピードスケートで活躍した現国会議員の橋本聖子さんの実家である橋本牧場(宮末町)で、のどを潤すビールと採りたての山菜を加えた肉厚ジギスカンで昼食をとりました。環境保護活動に加え北海道の自然も満喫できた会という事で大好評でした。秋は山菜からきのこ採りに変えて同会を行う予定で、皆さん楽しみにしているそうです。
(北海道三栄会事務局)

社有林体感プログラム体験ツアー開催

三井物産(株)北海道支社ならびに北海道三栄会主催で、社有林の植樹・間伐などの体感ツアーに山菜アドバイザーとして参加しましたので、その体験記を投稿します。

1 三井物産の社有林の概要
三井物産が国内に所有する社有林面積は現在四四〇ヘクタールで、王子製紙・日本製紙に次いで民間所有の森林面積は全国第三位です。その内北海道にある社有林面積は三三〇ヘクタール(うち人工林二二〇ヘクタール・天然林一三〇ヘクタール)となっています(人工林の主要樹種はトドマツが二六%、カラマツ三四%)。

2 社有林の保有意義と課題
森林保有は今年度の洞爺湖サミットでも最大のテーマであった地球温暖化(炭酸ガス排出規制・環境保全)にとって大切な要因で、近年脚光を浴びると同時にその保有意義は大きいものがあります。一方、環境災害を防止するため、高額な保有コストが森林の管理・整備に必要で、右記社有林保有に三井物産では年間六億円のぼろマイナス計上(二〇〇六年三月)となっていると説明を受けました。しかしながら、現在の社有林は三井物産の会社の方針として長期保有することが決定されて

3 体験ツアーの内容
会場は勇払郡鶴岡町・厚真町・穂別町にまたがる似洞山林で(二〇〇八年五月一〇日実施、札幌市内から現地まで車で所要時間約一時間半)、現在の森林の状況を見学し、実際に裾枝払い(三〇分)・植栽作業(カラマツの苗一〇本)を体験しました。どちらの作業も結構な急斜面で行われ、女性にはハードな作業と感じました。なお、道中のバスの中で社有林および資料に関して太田業務室長より説明があり、森林は表土の維持管理が最も大切なお言葉が印象に残りました。

4 山菜について
体感ツアーでの山菜採りは補助的な目的で、時間的な制限はありませんが、各自少量ですがお土産として持ち帰りまし

〔地方三栄会活動報告〕

〔北海道三栄会・親睦会開催〕 料理に舌鼓しつつ親睦を深め大盛り上がり

北海道三栄会では、昨年より、会員各社の新入社員の方々や新たにこの一年間に北海道へ着任された方々を中心に、「新人・新着任者歓迎会」を開催し、今年も去る五月二十七日に新人・新着任計一三名を含む二二名の方々が参加して、三井物産北海道



各参加者の個性のある自己紹介に笑いが絶えませんでした

支社会議室にて開催されました。最初に、ご自身もこの春着任された日本ユニシス(株)林支店長(北海道三栄会会長の)挨拶の後に、三井物産の歴史DVDの視聴、さらには三栄会の活動紹介と続き、その後一人ずつ自己紹介が行われました。

「寒いのは絶対嫌だと思っていたら、昨年一〇月に転勤となり、いきなり厳冬で閉口した」という声の一方、「周りにこんなに大自然が残っており、感激している」あるいは「なぜか転勤二カ月で〇キロ体重が増えた」などなど、楽しいお話が続きました。皆さんのお名前とお顔が少し一致したところで、場所を移動し、第二部の開会となりました。

第二部は、近在のDINING BARでのパーティ形式でした。立食のため皆さん相互のご挨拶が進み、会が進行するにつれすっかり打ち解け、



林会長とMBK栗山支社長を取り囲んでアクティブトーク

おいしいお酒とお料理、そしてなにより楽しいお話がはずんで北海道三栄会の老若男女?のメンバーはすっかり盛り上がり、あつという間に時間が経ってしまいました。三井物産(株)栗山北海道支社長の「これから

も楽しく親睦を深めましょう」とのご挨拶で無事にお開きとなりました。(北海道三栄会事務局)

〔東北三栄会・親睦会開催〕 街中で気軽に声を掛け合える仲に

東北三栄会では会員各社の幹部だけでなく、各社の社員や新しい仲間となる転入者や新人も交えて、気軽に親睦を深めていただく懇親会が五月九日(金)夜、仙台で開催されました。

この親睦会には会員各社から総勢約六〇名と多数参加。オープニングでは三栄会紹介の映像を繰り返し放映し、東北三栄会吉岡会長(日本ユニシス(株)東北支店長)の開会挨拶で幕を開けました。六つのテーブルに別れて、ピュッフェ形式で食事を楽しみながら、予め指名したテーブルリーダーの好リードにより、それぞれ自己紹介に話が弾んで会場は笑い声と和やかな空気に包まれていました。続いてテーブルごとのチーム対抗ダーツ競技が行なわれる頃にはムード



おいしい食事とお酒も手伝って参加者は饒舌に

も最高潮で、各社が持ち寄った多数の景品も大いに花を添え、二種目のダーツ戦に参加した皆さんは各テーブルの興奮した応援と熱気でたいへん盛り上がりしていました。こうした実務レベルでの各社親睦会は久しぶりの開催でしたが、参加者からは早くも次回のこうした親睦

会開催に期待が寄せられていました。東北三栄会では六月にも、日本ユニシス(株)のご好意で「パソコン教室」を開催し、これまたいへん好評でした。これからも東北三栄会は、こうしたさまざまな活動を通して、会員の皆様との親睦を深めるよう、積極的な活動を目指します。(東北三栄会事務局)



一挙手一投足に注目し、大盛り上がり

機械部会



東レ(株)胡谷常任理事による講演風景

平成二〇年度東京三栄会機械部会の定例会が、六月三日に会員二二社約四〇名の参加を得て、三井物産本店地下中ホールで開催されました。まず、世話人の三井物産マシントック(株)小川社長から機械部会会員の異動、社名変更、代表者交代、事業年度の変更などの報告がありました。次いで、次期世話人について審議し、今期に引き続き小川社長が就任されることが満場一致で決定しました。続いて、東京三栄会野村副会長よりご挨拶の後、講演会に移り、東レ(株)胡谷常任理事による「東レの自動車材料事業戦略」と題する講演が行われ、自動車の発展史、東レの炭素繊維など新素材を活用した自動車分野

への取り組み、自動車向け部材の事業戦略などについて大変興味深いお話があり、活発な質疑応答が行われました。定例会後の懇親会では、三井物産から副島副社長、阿部副社長、花形自動車本部長、長尾プロジェクト本部長補佐、浦島自動車/船舶・航空業務部長以下幹部の方々、東京三栄会から豊島副会長、野村副会長、横手共通世話人ほかの方々も参加され、副島副社長のご挨拶、阿部副社長の乾杯ご発声の後、和やかな雰囲気の中で近況報告や意見・情報交換が活発に行われました。(広報委員/物産機械情報サービス:天野)

第21回 東京三栄会野球大会

三国コカ・コーラボトリングが12年ぶり3度目の優勝



組み合わせ表

試合を決めました。決勝戦は二時一

二年前と同じく、週末になると雨に泣かされた第二回大会でした。四月九日(木)、三井物産地下多目的ホールにて参加チーム代表者による抽選会を行いました。会社関係の統合・合併の関係から昨年に比べて五チーム減の二六チームの参加でした。また、雨天関係から選手が集まらず棄権チームが続出した珍しい大会でもありました。ベスト4には昨年と同じ顔ぶれが三チームも入りました。準決勝第一試合の東神倉庫(株)対三井情報(株)戦、両投手の好投と堅実な守備で好ゲームでした。五回二つのバントで相手の守備を揺さぶるといふ、好投手にはこの攻めしかない見事な攻めでした。準決勝第二試合の三国コカ・コーラボトリング(株)対エームサービス(株)戦、三回まで緊迫した好ゲームでしたが、四回にはぶるぶる振るスイングからこつこつ当たるスイングに変えたことで連打が続

五分から、儘田スポーツ委員長の始球式に続き準決勝終了三〇分後に開始しました。昼になるとグラウンドは風もありましたが、気温三度に上がり選手には大変な苦勞でした。試合は四回まで今大会絶好調の三国コカ・コーラ佐藤投手の完全試合が続き、ひよっとしたらと期待も出てきた中、決勝戦まで勝ち進めて来た誇りもあり、しぶとく二塁の頭を越えるヒットが二本続きました。暑い中、意地と意地のぶつかり合いの好ゲームでした。三国コカ・コーラの初優勝は第七回、平成六(一九九四)年当時の最高殊勲選手に現在の監督を務める梅村さんが、現在もチームの中心選手として今回も活躍。今は毎回二人のお子様を連れてくる優しいお父さんです。東神倉庫は第一回大会優勝チームで二〇年ぶりに決勝に進出しました。その時の最高殊勲選手であった林さんが、今大会は投手として決勝戦を完投して特別委員長賞に輝きました。観戦していた儘田委員長が現役二〇年以上も続けることは大変立派なことと感心されていました。最後に、今大会は大きな怪人もなく無事に終了できましたことを、参加選手の皆様と大会運営にあたった世話人会の皆様へ深く感謝申し上げます。また来年もお逢いしましょう。

(スポーツ交流委員会/トライネット・ロジスティクス:佐藤)

東京三栄会 会員各社 新社長紹介

今年4月に就任された
17名の新社長の方々を
ご紹介いたします。



●三井物産トレードサービス(株)
代表取締役社長 **伊藤史郎**

本年4月に社長に就任しました伊藤史郎と申します。SSCとして、三井物産の総合力発揮に努めます。



●三井物産パッケージング(株)
代表取締役社長 **松田俊哉**

紙パルプ・包装資材・産業資材の専門商社です。人と社会に貢献し評価される企業を目指します。



●三井物産フロンティア(株)
代表取締役社長 **佐藤弘**

世界の物作り企業に、高品質・高付加価値サービスを提供するソリューションプロバイダーを目指しています。



●三井リース事業(株)
代表取締役社長 **陶浪隆生**

2008年10月1日よりJA三井リース(株)として新たなスタートを切ります。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。



●(株)もしもしホットライン
代表取締役社長 **竹野秀昭**

当社は総スタッフ数2万人を超えるコールセンター運営会社です。業界トップを目指し、邁進してまいります。



●大東化学(株)
代表取締役社長 **矢内利行**

08年2月から勤務を始め、常駐勤務場所の平塚工場と、本社事務所(神田)を行ったり来たりしております。未曾有の原料高と格闘しております。



●電機資材(株)
代表取締役社長 **山田 勉**

新日鐵の電磁鋼板の販売を通してあらゆる産業の省エネ化を推進し、環境問題に貢献いたします。



●東神倉庫(株)
代表取締役社長 **加藤 誠**

品川と大宮の立地を生かし、定温物流や医療機器物流のプロとして、お客様の付加価値創造に貢献します。



●トライネット・ロジスティクス(株)
代表取締役社長 **信岡正章**

国内各地の当社物流拠点とMBK海外ネットワークの協業により、お客様に最適なロジスティクスを提供します。



●三井情報(株)
代表取締役社長 **下牧 拓**

MKIグループは情報基盤の構築・運用を通じて、お客様の情報戦略を支えています。



●三井物産スチール(株)
代表取締役社長 **丹内孝治**

2008年4月1日、鉄鋼製品販売会社4社と三井物産の国内営業部隊を合流し、発足いたしました。



●アラマークユニフォームサービスジャパン(株)
代表取締役社長 **住吉正行**

日本におけるユニフォームレンタルのパイオニアとして今年20周年を迎えました。



●王子コーンスターチ(株)
代表取締役社長 **大澤純二**

製紙・段ボール、ビール・清涼飲料、食品などの分野で、多様化するお客様のニーズに対応した製品を提供してまいります。



●(株)ジェイ エスキューブ
代表取締役社長 **中込 純**

機器販売の旧東洋オフィスメーションから、ITツールを駆使した事務処理受託・代行サービス事業者に変身中です。



●新日本空調(株)
代表取締役社長 **岡本隆裕**

あらゆるステークホルダーから、「当社には企業価値がある」と評価される企業にしたい。職員の先頭に立って邁進する所存です。



●スターゼン(株)
代表取締役社長 **秋山 律**

コンプライアンス経営に徹し、60年の歴史の上にさらに「良い積み重ね」を続け皆様から愛される会社を目指します。



●第一タンカー(株)
代表取締役社長 **多湖浩一郎**

日本・アジアで化学品の海上輸送を担い、安全第一の下、専門性の高いサービスによりお客様のニーズにお応えします。

(掲載は50音順、敬称略)

改めまして、
JA三井リースです。

10月1日をもって、持株会社JA三井リース・協同リース・三井リース事業の3社が統合し、JA三井リース株式会社として新たにスタートすることになりました。リースをはじめとする多様な金融サービスの提供を通じて、お客様の事業発展を第一に考え、社会の発展に貢献してまいります。

JA三井リース株式会社
東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング 〒103-0027 Tel.03-3517-7800(代表) www.jamitsuilease.co.jp

**三井リース事業(株)が
レンタル・販売をご提案
「ECOな乗り物セグウェイ」**

三井リース事業(株)は、本年四月よりJA三井リース(株)は、本年四月よりセグウェイの正規販売店として、販売・レンタル事業を推進しています。セグウェイは、アクセルやブレーキなしで重心移動によって動きを制御する電動立ち乗り二輪車で、排出ガスを発しない環境に優しい乗り物として注目を集め、警備分野、倉庫、ゴルフ場、観光地、イベント会場等さまざまな分野で活躍しています。

Business Corner

ビジネス・コーナー

当社からは各種イベント・ゴルフ場等の他、洞爺湖サミットの警備にもセグウェイを納入し、その操作性・環境性で高い評価を得ております。ECOな乗り物セグウェイを企業のPR、業務効率化にぜひご活用ください。

「セグウェイに関するお問合せ先」
三井リース事業(株) 第一営業本部
ロボット市場開発チーム
担当：石井大生
TEL：03-3517-7518
なお、リース・ファイナンスに関するお問い合わせは、三井物産本社ビル一四階に常駐しております三井リース事業(株)三井物産営業推進部(TEL：03-3517-2653、FAX：03-3517-9905)までご連絡ください。